

第51回医療研究全国集会

第02号



in
和歌山



【発行】医療研組織委員会事務局

2024年4月16日

TEL 03-3875-5871

FAX 03-3875-6270

iryoukensoshiki@iryoken.jp

レポート携え、職場からの医療・介護 実践を交流しよう

ご挨拶

第51回医療研究全国集会
in 和歌山・組織委員会

鎌倉 幸孝 事務局長

(日本医労連中央副執行委員長)



佐々木悦子組織委員長(写真中央)&組織委員で、医療研成功において頑張ります！

和歌山県での医療研究全国集会の開催は初めてとなります。1日目が全体集会、2日目を分科会という2日間の日程で、いずれも完全リアルによる開催とさせていただきました。

1日目の全体集会では、記念講演として、「第5波までの全員入院を実現した『和歌山モデル』」と題して、東京医療保健大学特任教授の野尻孝子先生よりお話をいただきます。基調フォーラムは、「日本の社会保障はどのような状態に置かれているか(和歌山の実態に学び、社会保障費抑制政策を転換させよう!)」をテーマに、コーディネーターに佛教大学客員教授の横山壽一先生、3名のパネリスト(①和歌山生協病院ソーシャルワーカー・長谷英史氏、国民皆保険制度の危機、高すぎる保険料・窓口負担と受診控えの実態、②和歌山生協病院小児科医・佐藤洋一氏、私のライフワーク「子どもの医療費無料化拡充の運動から神経発達症児の教育充実を目指す運動へ」、③和歌山合同法律事務所弁護士・芝野友樹氏、いのちのとりで裁判の判決の現状と人権の担い手であるケア労働者への期待)をお招きし、それぞれのテーマに基づく報告とディスカッションを行います。1日目の夜は「和歌山の郷土料理の特徴を学び、食育について考える」をテーマにした食文化交流会(先着200名)も企画しました。

2日目は分科会となります。全体で13の分科会を設定し、レポート報告と討論・交流を行います。また、和歌山の「戦跡めぐり」と「津波防災」、食文化をテーマに掲げた「動く分科会」(先着40名)も設定しました。全国各地から参加いただいた皆さんと地元住民の皆さんとともに作り上げる医療研究全国集会をめざすものです。

レポート募集開始 4月1日～ 締切 5月27日

医療研ホームページ <https://iryoken.jp/>

